

SBT 認定取得に向けコミットメントを表明

～パリ協定に沿った温室効果ガス削減目標を策定し、更なる排出量削減に取り組みます～

株式会社レゾナック・ホールディングス（代表取締役社長 CEO：高橋 秀仁、以下、当社）は、2025 年 6 月 30 日付で、科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出削減の中長期目標設定を推奨する国際的イニシアチブ「Science Based Targets initiative（以下、SBTi）^{*1}」に対し、コミットメントレターを提出いたしました。

これは、サプライチェーン全体（Scope1・2 および 3）で 5～10 年先の中長期目標を設定し、2 年以内の Science Based Targets 認定（SBT 認定）取得をコミットするものです。今後、当社は、パリ協定の世界平均気温の上昇を 1.5°C 以下に抑えるシナリオに沿った 2030 年目標の再設定、および 2035 年における新規目標設定を行います。

当社は、これまでも 2050 年カーボンニュートラルに向けて、エネルギー効率の改善、再生可能エネルギーの使用拡大、パートナーとの共創による新技術開発、脱炭素に貢献する製品・サービスの提供などに取り組んできました。石油化学事業を運営するクラサスケミカル株式会社（代表取締役社長：福田浩嗣、以下、クラサス）が当社からスピンオフを行った後に、新生レゾナックとして SBT 認定を取得し、持続可能な社会の実現を加速させていきます。クラサスにおいても、カーボンニュートラルに向けて省エネ施策や低炭素燃料転換はもちろん、CO₂ 分離回収や CCU^{*2}などの革新的技術の実装などに今後も取り組んでいきます。

^{*1} Science Based Targets initiative（SBTi）：CDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）、UNGC（国連グローバル・コンパクト）、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）の 4 団体によって共同運営されている国際的なイニシアチブ。科学的根拠に基づいた温室効果ガス削減の中長期目標設定を推奨している。

^{*2} Carbon dioxide Capture and Utilization（CCU）：CO₂を燃料やプラスチックなどに変換（カーボンリサイクル）するなどして、資源として有効利用する技術です。温室効果ガス削減の手段として環境負荷を低減する役割を果たすと同時に、排出される CO₂から経済的な価値を生み出すことができる技術です。

以上

ご参考

> [気候変動への対応](#)

https://www.resonac.com/jp/sustainability/environment/climate.html?intcid=glnavi_jp_sustainability_environment_weather

【Resonac（レゾナック）について】

レゾナックは、半導体・電子材料、モビリティ、イノベーション材料、ケミカル等を展開し、川中から川下まで幅広い素材・先端材料テクノロジーを持つ機能性化学メーカーです。2023 年 1 月に昭和電工と旧日立化成が統合し、誕生しました。社名の「Resonac」は、英語の「RESONATE：共鳴する・響き渡る」と、Chemistry の「C」の組み合わせです。レゾナックは「共創型化学会社」として、共創を通じて持続的な成長と企業価値の向上を目指しています。

2024 年度の売上高は約 1 兆 4 千億円、うち海外売上高が 56%を占め、世界 24 の国や地域にある製造・販売拠点でグローバルに事業を展開しています(2025 年 2 月時点)。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

株式会社レゾナック・ホールディングス <https://www.resonac.com/jp/>

◆ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社レゾナック・ホールディングス

ブランド・コミュニケーション部 メディアリレーショングループ

TEL 03-6263-8002